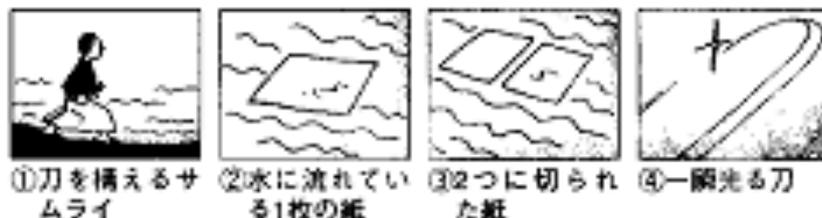


### 4枚の絵を並べ替えて、 ストーリーを作ってみよう

組み合わせる(編集する)ことによって、どういう付加価値が生まれるのかということを実感してもらいたいで、ここでそのために簡単な演習をしてほしい。

哲学者である松岡正剛氏が書かれた『知の編集術』(講談社現代新書)という本がある。その中に、浦岡敬一氏という日本映画の編集名人の技法について書かれた山口猛編『映画編集とは何か——浦岡敬一の技法』(平凡社)からの引用が掲載されている。映画の編集の課題だ。これを採録するので、やってみてほしい。

- ② 「ここにごくふつうのチャンバラ映画のための4枚のカットがある。わかりやすく静止画面にしてあるが、実際には多少の動きがある。この4枚を適当に並べて、ごく簡単なストーリー(文脈)にしてほしい」



- ④ これは映画のコマ割りだと思ってほしい。これを並べ替えて意味が通じるようなストーリーにする。組み合わせ方は少なくとも30種類くらいある。3分くらいで、できるだけたくさんの方を考えてみよう。